

会員アンケート実施報告

1. 実施概要

- 実施期間：2021年11月9日～12月3日
- 実施対象：日本臨床腫瘍薬学会（2021年11月9日時点の全会員）
- 実施方法：Google フォームを利用、URL を email にて配信
- 設問数：全 32 問、所要時間 5-10 分程度、無記名形式
- 配信数：4792 名（事務局より送信，エラー返送件数を除く）
- 回答率：18.0% (864 名)

2. 回答者について

Q25. 年齢

	n	%
20代	67	7.8
30代	427	49.5
40代	243	28.2
50代	99	11.5
60歳以上	26	3.0
計	862	

Q27. 職場の種類

	n	%
病院・診療所	570	66.1
薬局	272	31.6
教育機関	8	0.9
行政機関	3	0.3
製薬企業	0	0.0
製薬企業以外の臨床開発系企業	2	0.2
学生	0	0.0
その他	7	0.8
計	862	

Q28. 職場環境

がん診療拠点病院、または地域がん診療病院

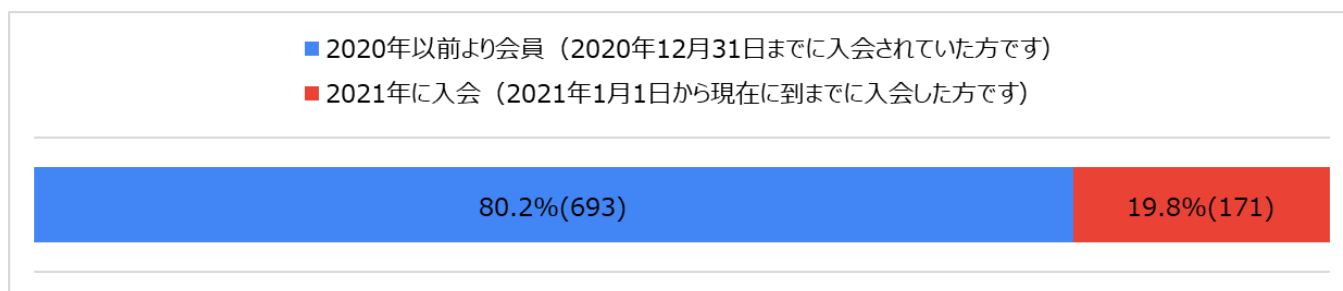
	n	%
はい	380	67.1
いいえ	186	32.9
計	566	

Q26. 都道府県

	n	%
北海道	42	4.9
青森	4	0.5
岩手	5	0.6
秋田	5	0.6
宮城	12	1.4
山形	5	0.6
福島	10	1.2
埼玉	52	6.1
千葉	53	6.2
茨城	24	2.8
栃木	20	2.3
群馬	12	1.4
東京	112	13.1
神奈川	72	8.4
山梨	4	0.5
新潟	15	1.8
長野	12	1.4
富山	3	0.4
石川	7	0.8
福井	5	0.6
愛知	47	5.5
静岡	12	1.4
三重	9	1.1
岐阜	16	1.9
大阪	52	6.1
京都	15	1.8
奈良	5	0.6
滋賀	13	1.5
和歌山	4	0.5
兵庫	29	3.4
岡山	14	1.6
広島	17	2.0
山口	6	0.7
島根	6	0.7
鳥取	2	0.2
香川	4	0.5
愛媛	8	0.9
徳島	5	0.6
高知	4	0.5
福岡	49	5.7
長崎	12	1.4
佐賀	5	0.6
大分	7	0.8
熊本	13	1.5
宮崎	9	1.1
鹿児島	6	0.7
沖縄	12	1.4
その他	2	0.2
計	857	

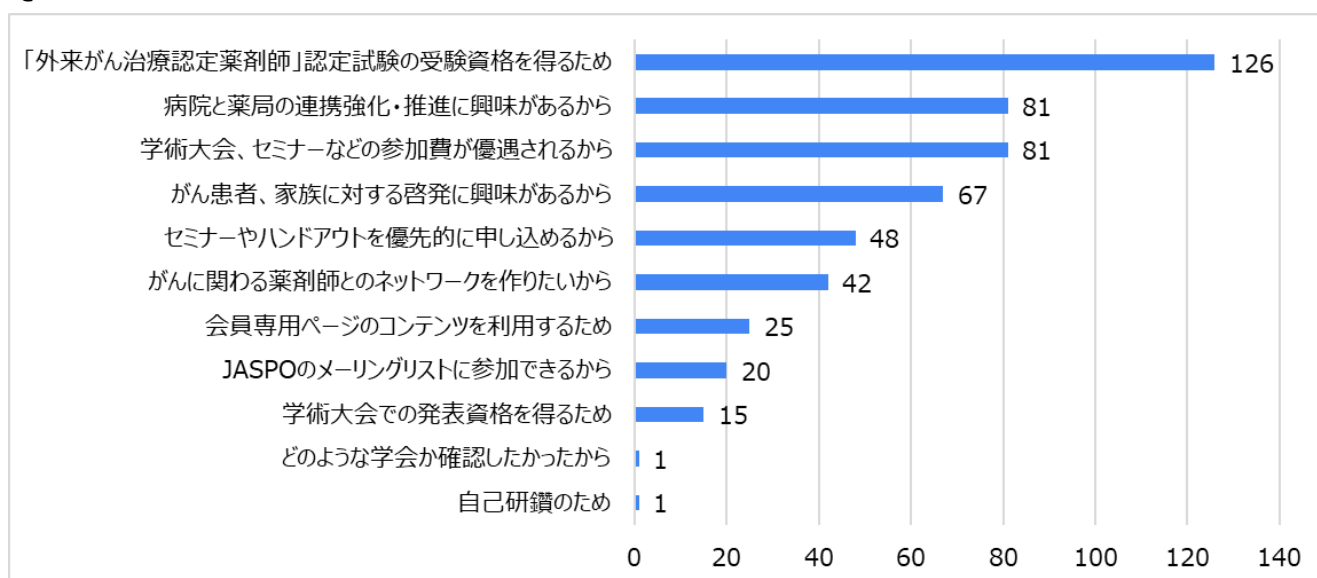
3. 集計結果

Q1. あなたはいつ入会されましたか？

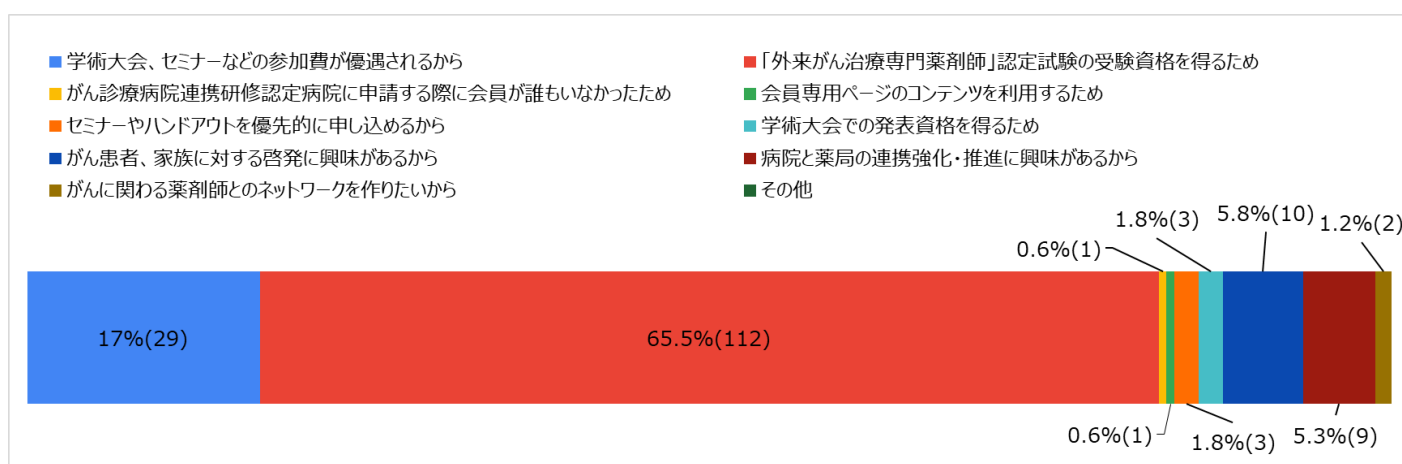


JASPO への入会理由に関する質問（2021年に入会した方を対象）

Q2. JASPO への入会理由はなんですか？当てはまるものを全て選択してください（複数回答可）

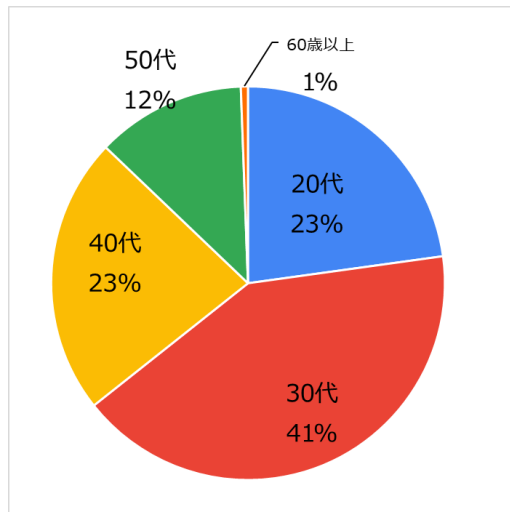


Q3. JASPO への入会理由はなんですか？最も当てはまるものを1つ選択して下さい。(n=171)

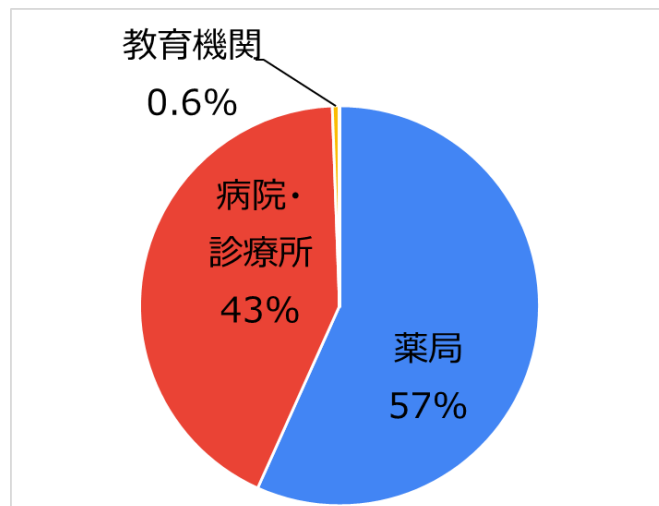


今年度新規に入会された会員の分析

〈年齢別〉



〈職場の種類〉



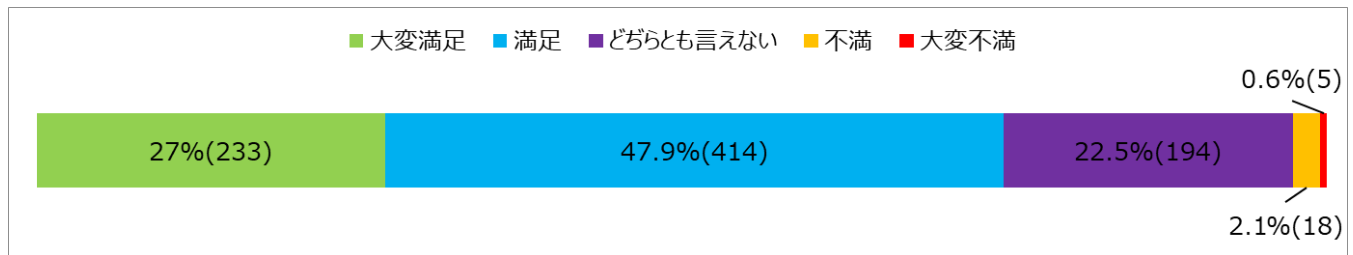
- ・ 新規に入会した会員を年齢別に分類すると、30代が最も多く41%であり、次いで20代と40代が23%であった。
- ・ 職場の種類における分類では、薬局が57%、病院が43%であった。

最大入会理由	人数	関連する入会理由 (%)		
		第1位	第2位	第3位
認定制度	112	第1位: 病薬連携 (48.2)	第2位: 参加費優遇 (45.5)	第3位: 啓発活動 (35.7)
参加費優遇	29	第1位: 認定制度 (65.5)	第2位: 病薬連携 (44.8)	第3位: 優先申し込み (37.9)
啓発活動	10	第1位: 認定制度 (90)	第2位: 病薬連携 (50)	
病薬連携	9	第1位: 啓発活動 (66.7)	第2位: 認定制度/優先申し込み (44.4)	

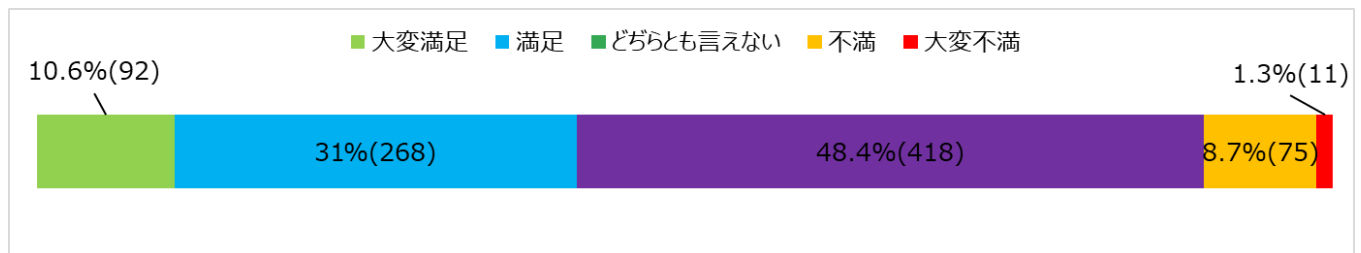
- ・ 新規に入会された方の最大入会理由と、その他にも入会理由があれば選択して頂いた。
- ・ 最も多かった最大入会理由は認定取得のためであり、その他の理由に病薬連携が挙げられた。
- ・ 次に多かった最大入会理由は参加費優遇であり、その他の理由として認定制度が挙げられた。
- ・ 認定制度以外の最大理由を選択された方でも、その他の理由として認定制度を挙げた方が多かった。

JASPO のそれぞれの事業への満足度に関する質問 (n=864)

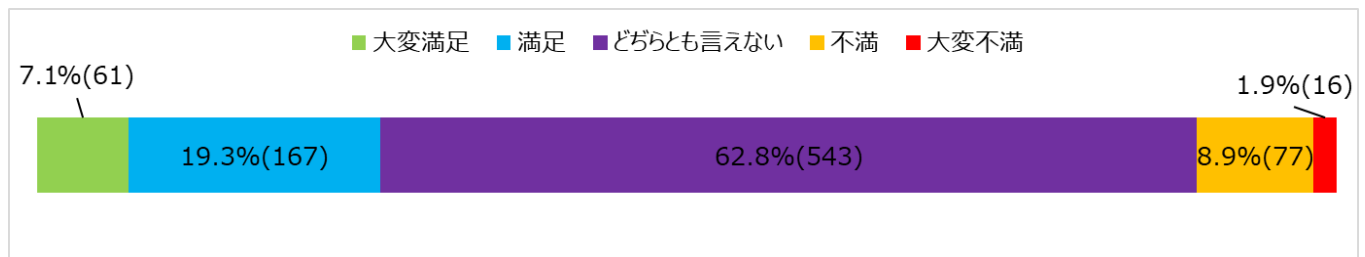
Q4. 学術大会、講演会、セミナー、研修会の開催



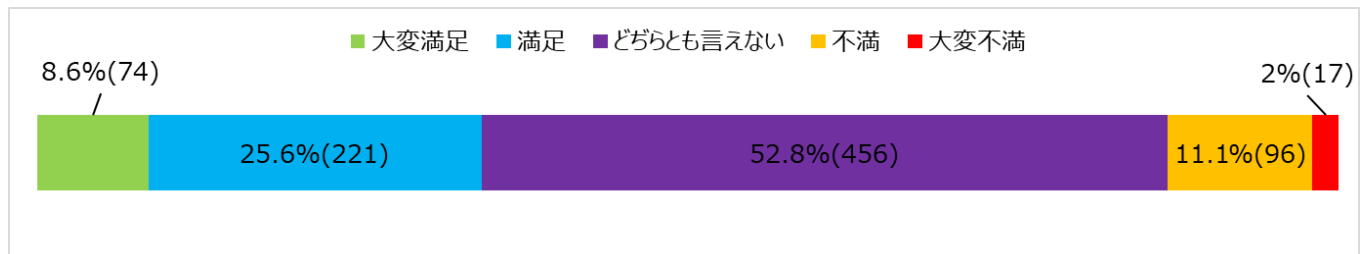
Q5. 病院と薬局の連携強化・推進への取り組み



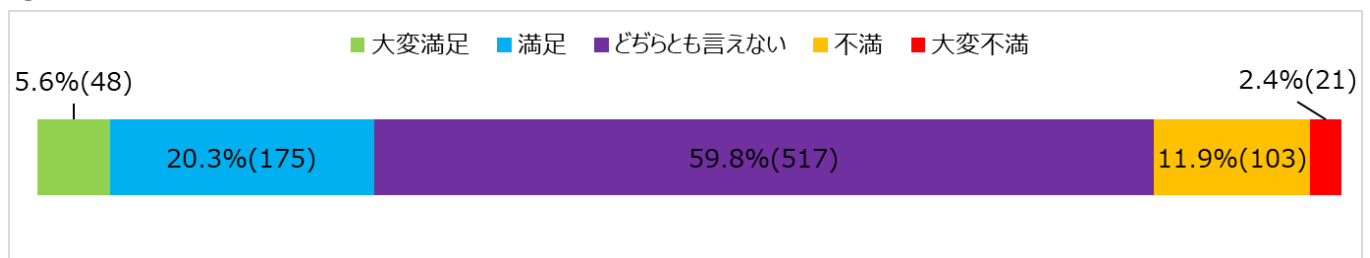
Q6. 臨床研究の支援、調査研究の実施に関する取り組み



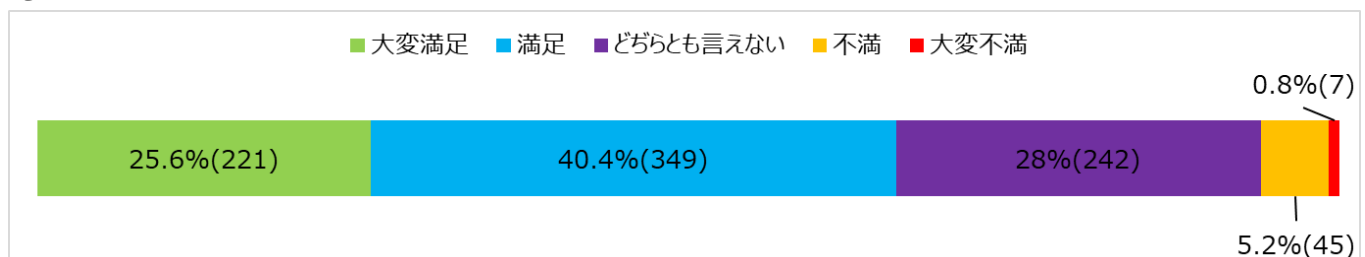
Q7. 薬剤師または多職種の情報交換、相互交流の推進に関する取り組み



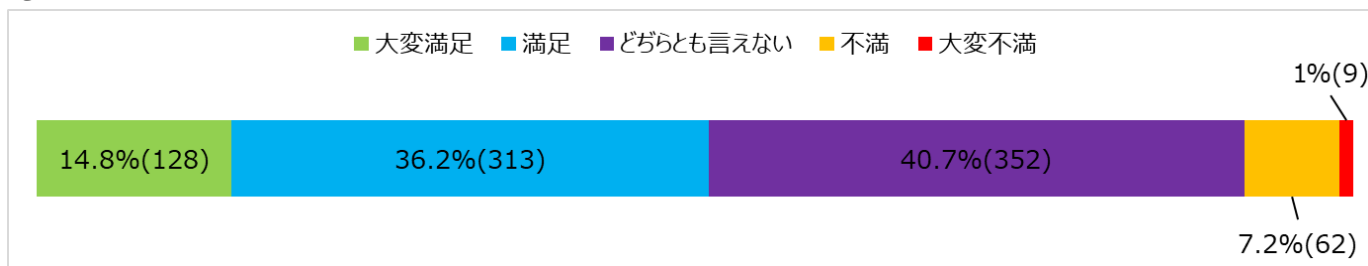
Q8. がん患者、家族に対する啓発活動



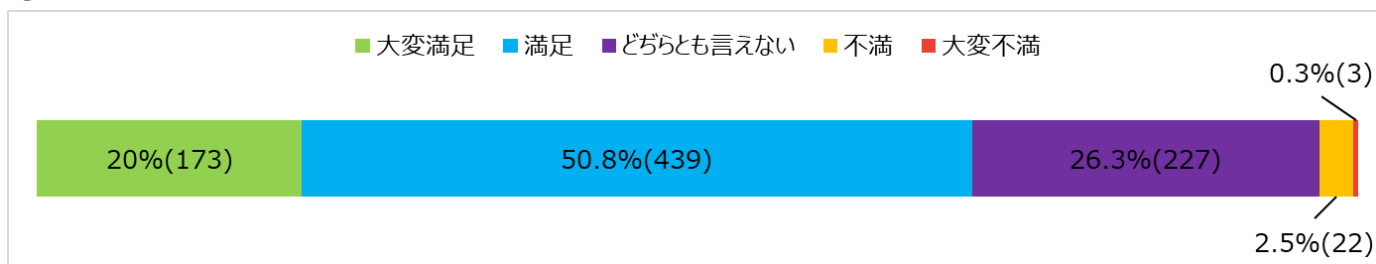
Q9. 専門性を有する薬剤師の養成・認定に関する取り組み



Q10.ホームページおよび学会誌による情報発信

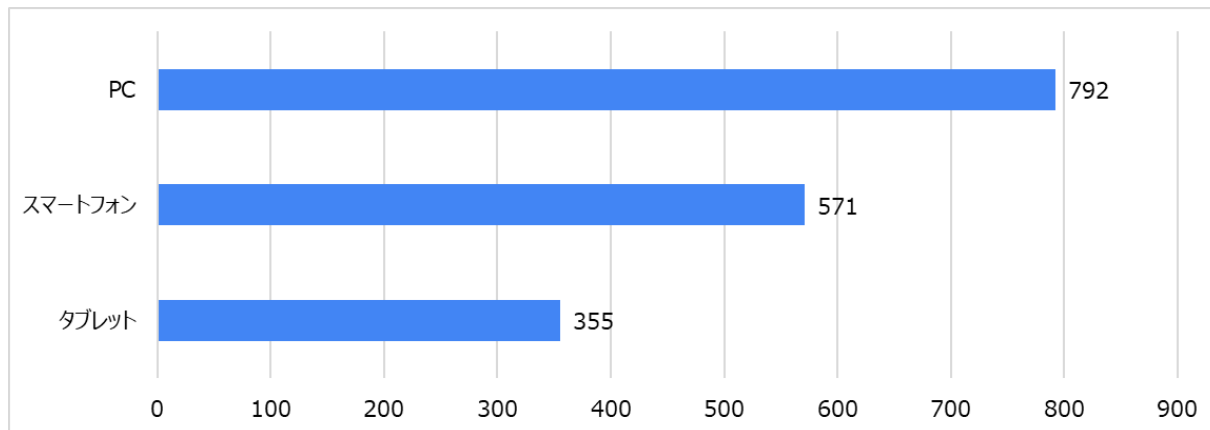


Q11. JASPO に入会されてからの、総合的な満足度はどのくらいですか？

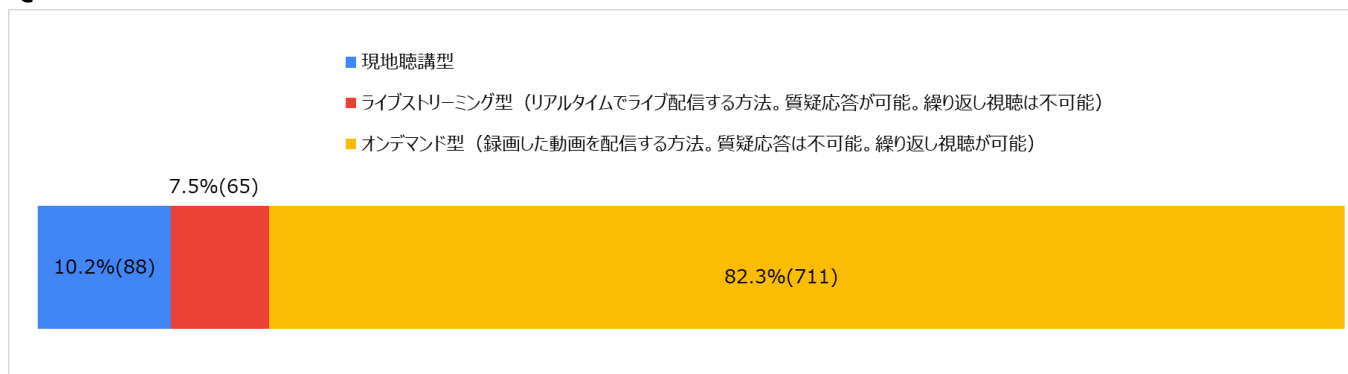


セミナーに関する質問

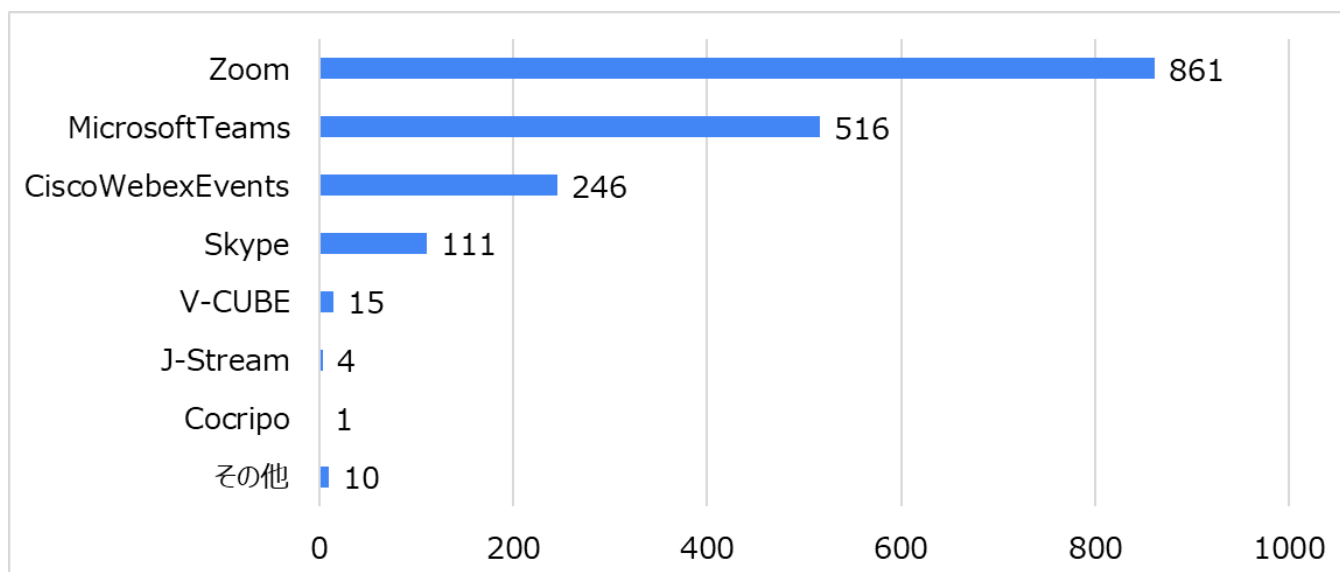
Q12. インターネットを利用したセミナーの受講の際に、使用可能なデバイスは何ですか？（複数選択可）



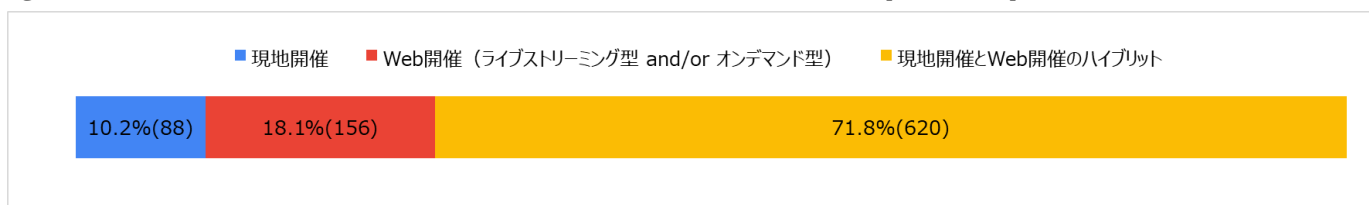
Q13. 今後、セミナーを受講する際に、最も利用したい方法はどれですか？



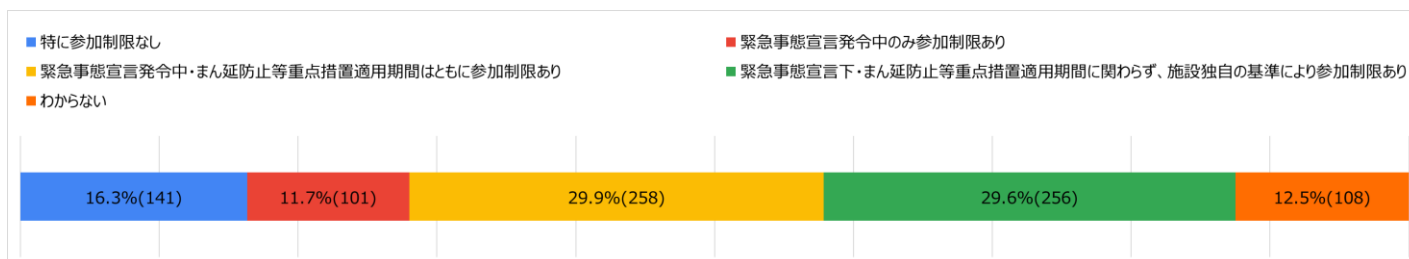
Q14. インターネットを利用したセミナーを受講する場合、あなたが使用可能なツールは次のうちどれですか？（複数選択可）



Q15. 今後の学術大会について、どのような形式を希望しますか。(n=864)

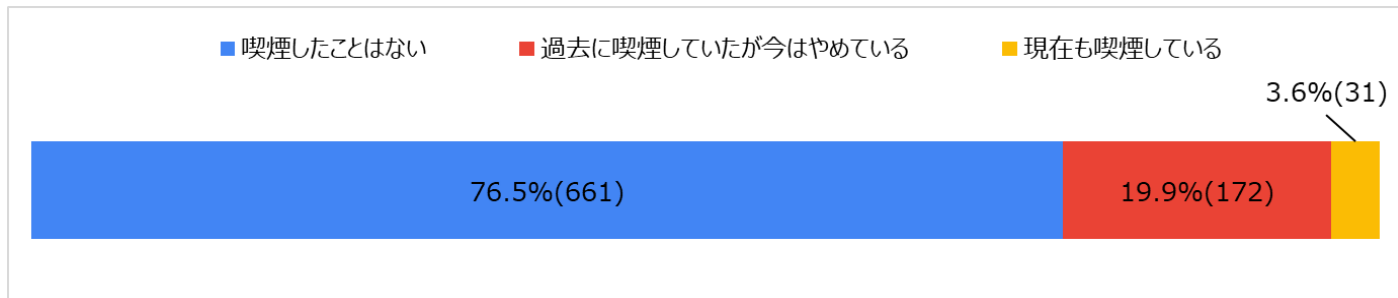


Q16. 現地開催であった場合、所属施設の基準より新型コロナウイルス感染症の状況によって学術大会への参加制限（都道府県をまたいだ移動の制限など）はありますか。

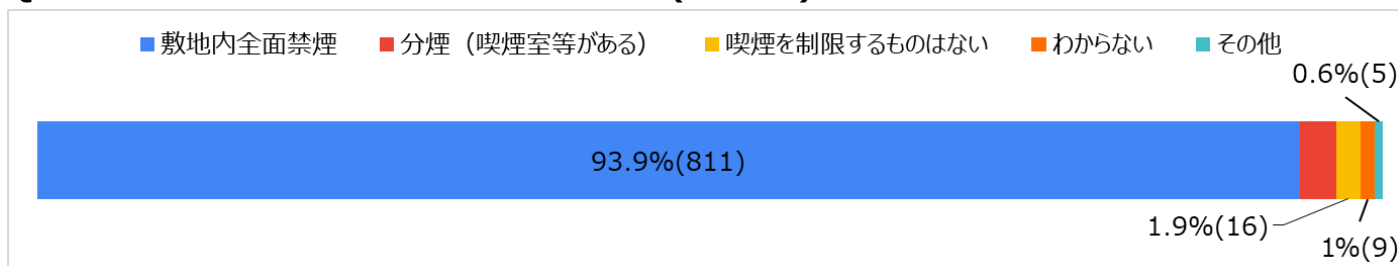


禁煙に関する質問

Q17. あなたは喫煙していますか？(n=864)

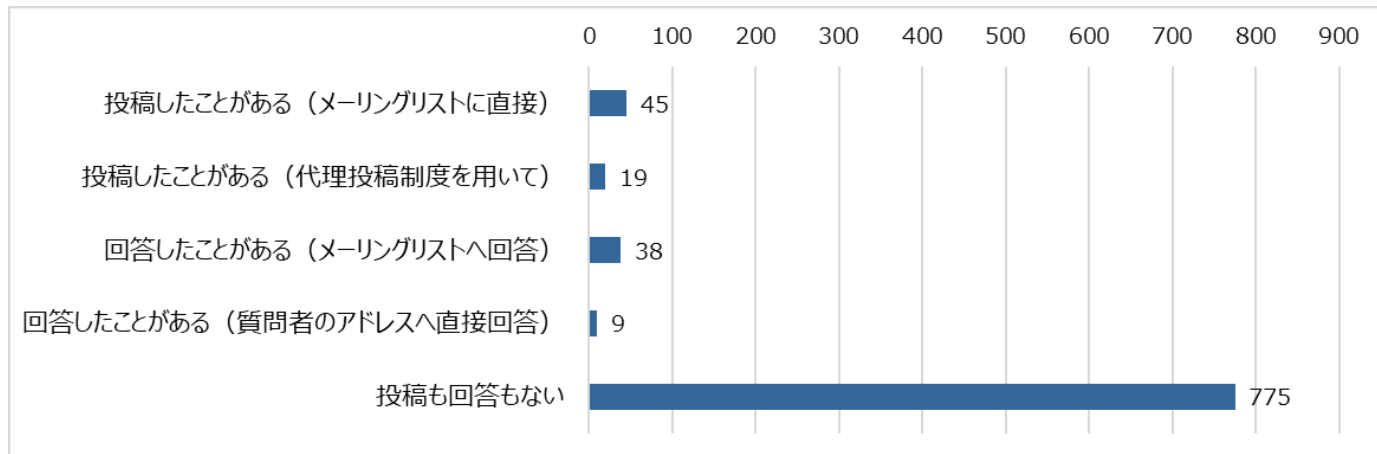


Q18. あなたの職場の喫煙環境を教えてください。(n=864)

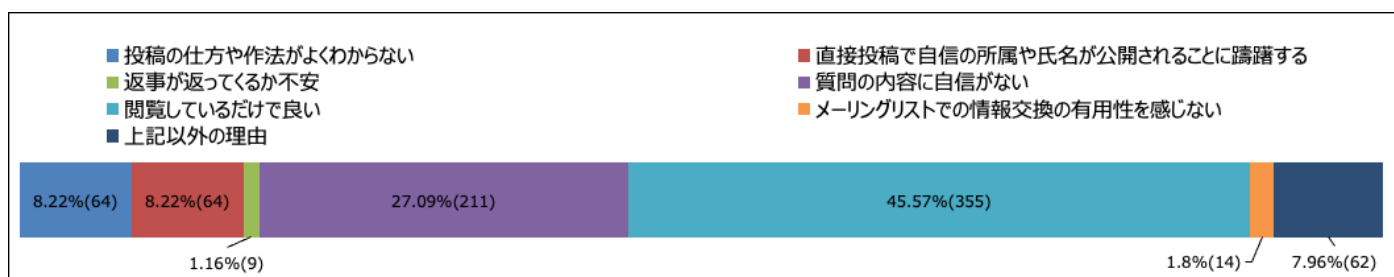


メーリングリストに関する質問

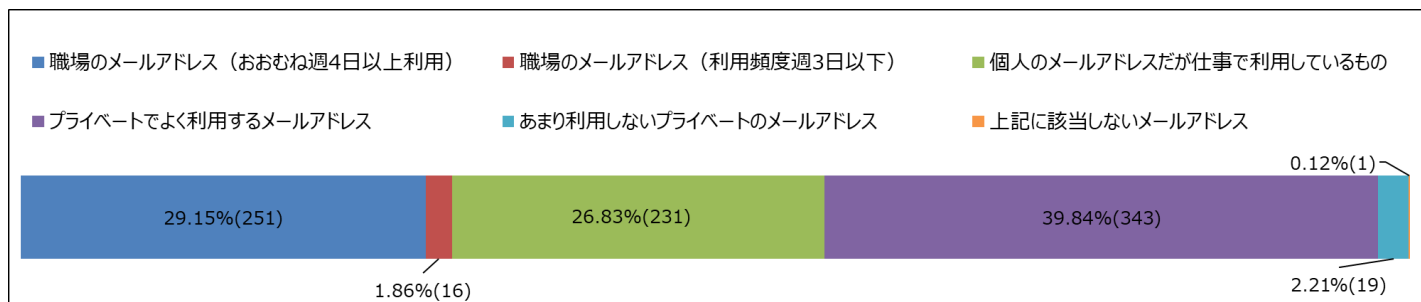
Q19. メーリングリストに質問を投稿や回答をしたことがありますか(複数回答可)



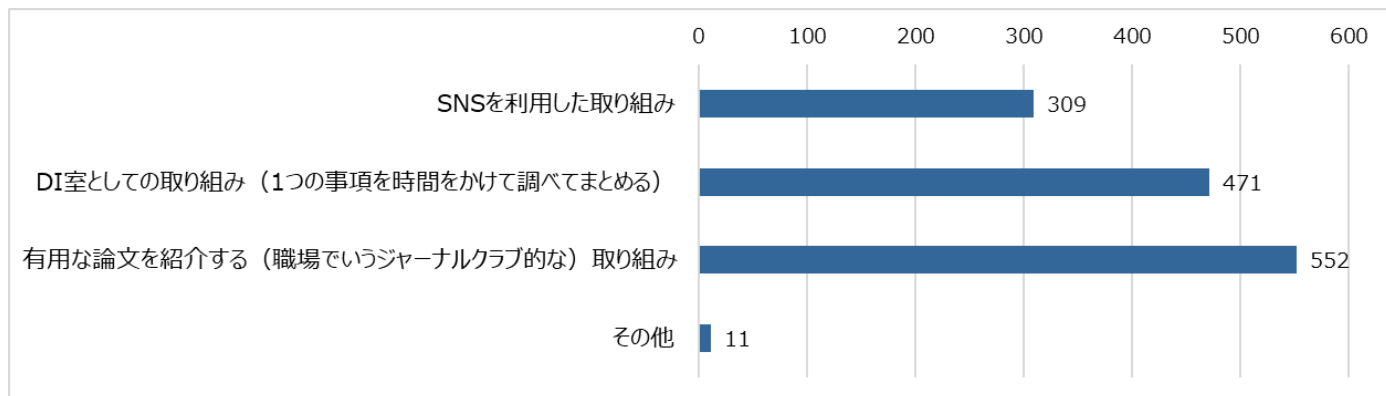
Q20. メーリングリストを利用したことがない理由としてもっともあてはまるものをお選びください (n=779)



Q21. JASPO メーリングリストに登録されているメインアドレスの種類をお選びください (n=861)



Q22. 今後、がん関連の情報取得に関する会員サービスとして、取り組んで欲しい内容や仕組みがあれば選んでください(複数回答可)



<その他のご意見>

- npo 法人などの紹介
- SNS については学会独自でやるのではなく、インフルエンサーなどに依頼して SNS 事象に詳しい人に委託して行うのが最も適切かつ実行力の高い投稿になると考える
- がん関連の研究の進め方に関する情報
- どのように情報を収集するか、SNS 含めノウハウがいろいろあると思うので、共有してほしい。
- メールで解決した件を本で出版しているが、データベース化して会員が使用できるようにしてほしい。
- レジメン情報の共有（特に小児領域などの複雑な臨床試験等のレジメン内容等の共有）
- 癌種別ピポタルスタディのデータベースなどがあると学びやすいと思います。同様なサイトはありますが、JASPO 管轄であれば信頼できると思います。
- 治療法がどんどん変わるので、各薬剤だけでなく治療法をまとめたりした情報があると助かります
- 症例検討ができるプラットフォームなどがあると面白いかなと思います。
- 上記の論文については批判的吟味を加えていただければと思います。
- 論文の批判的吟味、レジメン審査委員会でのエビデンスレベルの評価の仕方などについて具体的に学びたい。

Q23. 現行のメーリングリストに対する改善案がありましたらご記入ください

- 過去の内容について 11 件
- 過去の質問・回答を参照できるようにしてもらいたい
- 過去のメーリングリストをまとめて閲覧できる場所
- 過去のやりとりを見返しやすく整理していただけるとありがたいです。
- 過去の投稿内容を後から閲覧できるページがあれば嬉しい
- 振り返りが難しい。
- 過去事例を書籍として販売するのではなく、永続的に後から過去の内容を再度確認できる検索可能な情報サイトを作って欲しいです。過去のメーリングリストを探すのは大変困難です。メーリングリストのメールタイトルに質問内容が表示されているわけでもありませんので。
- システムをあまり詳しく理解できておらず恐縮ですが、過去の投稿と回答をアーカイブとして閲覧できるような機能はございますでしょうか。可能であれば、是非そちらからも勉強させて頂きたいと思います。
- メーリングリスト参加以前に、同じような質問が以前されていないか、気になることがあります。

- 過去に同じ内容の質問があったのではないかと考え、投稿に躊躇することがある。
- 対応をまとめた冊子をまた発売してほしい
- 代理投稿であっても素朴な疑問は投稿しにくく活発とは言えないので、過去の内容もいつでも投稿・閲覧・書き込みができるようなシステムへの移行。具体的な提案ができなくてすみません。

● 投稿について 3件

- よくできていると思います。しいて言えばもしかしたら全員への投稿となると質問を逡巡してしまい、投稿数が少ないかもしれない、分野等で投稿先を選ぶことができれば QA が増えるかも。とはいえ読んでいる側は全部読みたいので、解決後に Q&A のサイトができると良いかもしれません。
- 質問が漠然としており、症例についてよく分らないことが多々ある。
- 非常に画期的なシステムだと思うが、初心者でももう少し投稿しやすい方法があったらと思う（代理投稿はあるが）・・・。

● 回答について 9件

- 回答がない場合がかわいそう。自信がないが、たぶんこう、という方のために代理投稿ならぬ代理回答制度などどうでしょうか。
- 質問に対して回答が付かないものがあるのではないのでしょうか、必ず回答がもらえるような仕組みを作ってください。
- 回答スルーをなくす仕組みにして欲しい。
- 質問の内容があまりにも的を得ていないためか お返事を頂けないことがありました。有志の方がお返事いただいているので言いにくいのですが できれば何らかのアクションを頂けると次の行動がとりやすく思います。
- 代理投稿をした経験があるのですが、お返事をいただくことが出来ませんでした。やはり、直接投稿でなければ真剣度・熱意は伝わらないように思います。
- 返信する際はそれなりの回答が求められると思います、考えがあっても先に返信した人の内容や肩書に委縮してしまい自由意見が出ない可能性があります。現在の形式以外に自由な発言や討論が出来る様なチャット形式も良いのではと思いました。
- 回答一覧のまとめなどあると見返しやすい。
- 上から目線の回答が散見される。
- 上から目線の回答が多い。

● メール配信について 3件

- 全会員に一斉送信されるのには抵抗がある。
- 配信が多いため、必要最低限受信などの設定ができると嬉しい
- 夜間のメールではなく、日中にメール届くようなシステムにしてほしいです。

誤った情報について 2件

- 一度アブラキサンの供給が少ないときにパクリタキセルの在庫もというメーリングリストへの投稿は全国を混乱させる可能性があり、いかがなものかと感じました。
- 誤った情報が掲示されたことがあった。改善が必要。

アプリについて 2件

- アプリのように、通知機能があり、立ち上げると内容が閲覧できるような仕組みを希望。他のメールと混ざって見落とすことがよくあるため。
- メールではなく、公式 LINE などスマホで簡単にやり取りができる方法がやりやすいです

その他 5 件

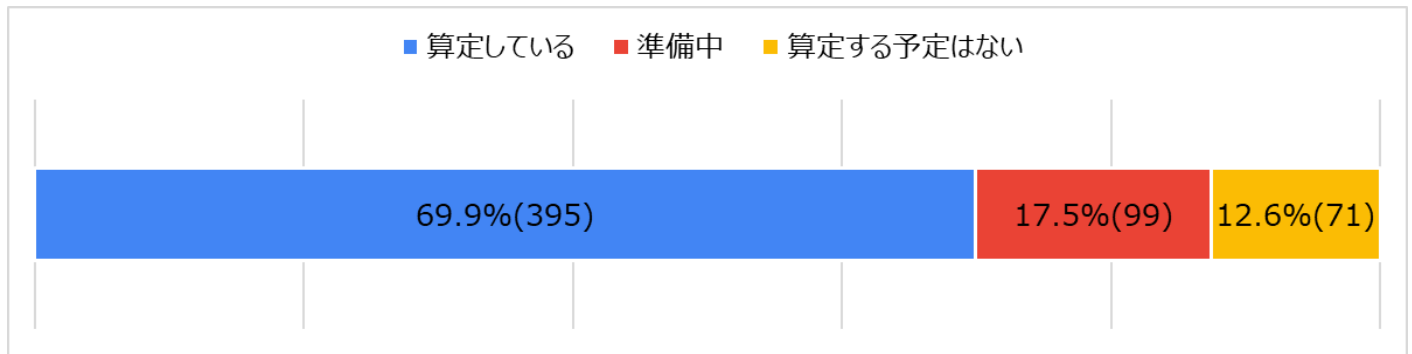
- 参考になっているのでなくさず維持してほしい
- 初期のメーリングリストは、こっそり聞けるから、大きな声では言えないけれど・・・的なやり取りがあったと思いますが、今は規模が大きくなったため、公的な意味合いが強くなり、役目を終えたのかなと思います。
- 他の学会のメーリングリストもそうなのですが、勤務先の情報（レジメンやマニュアル等）を不特定多数の会員へ送って良いものか、気になっており、回答しておりませんでした。各施設で情報提供して良い旨を院内で審議しているのか知りたいです。
- 薬局薬剤師間だけで共有したい内容などもあるかと思う
- 有用な論文等紹介してほしい

Q24. 現行の代理投稿制度に対する改善案があればご記入ください。 11 件

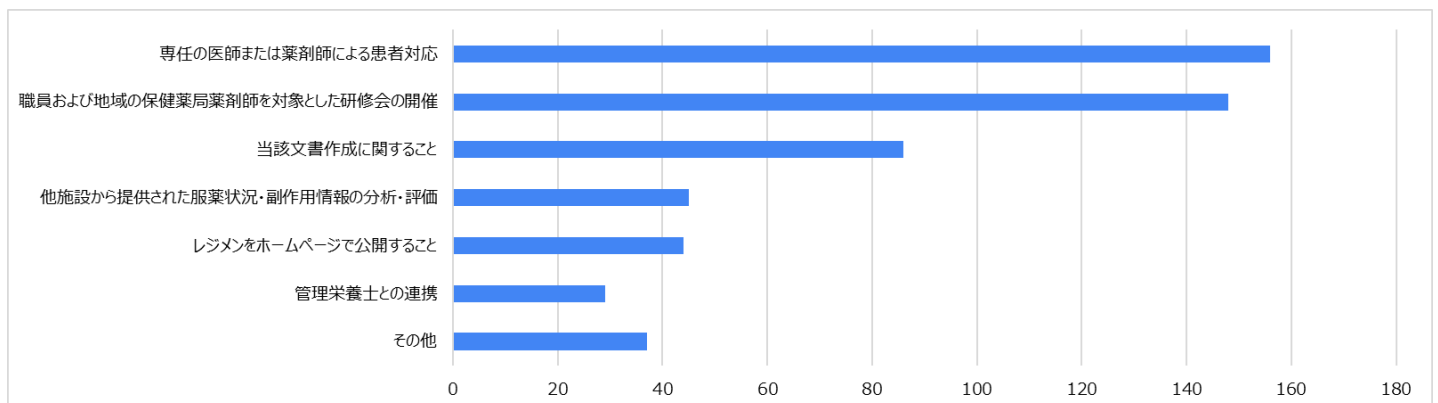
- メーリングリストを使う以上は改善案が浮かびません。
- もう少し回答しやすい形式であれば（選択肢を設けるなど）多くの方から回答得られると思います。
- よくわかりません。
- ログインしないと投稿できない
- 一般化されることで、逆に聞きたいポイントが霞んでしまうことがあるように思います。代理投稿制度は良いとは思いますが、JASPO 会員はそれぞれが認定を目指す薬剤師ですので、メーリングリストは直接投稿のみでも良いようにも思います。
- 会員ページにて過去の質問を一覧にし、そこからそれぞれの回答ツリーを閲覧できるようになると勉強・検索しやすくありがたいです。
- 回答者が適切なアドバイスが出来るよう、質問にフォーマットがあるなどしたらどうか。
- 制度開始当初と比べて代理投稿の意義は薄くなってきているのではないのでしょうか？
- 代理投稿は 2 次的なやり取りが出来ないので、やめた方が良いと思います。
- 代理投稿はとても良いと思います。
- 代理投稿をお願いしたところ断られてしまい残念でした。

【「病院・診療所」と回答された方に質問です】

Q29. 連携充実加算を算定していますか？ (n=565)

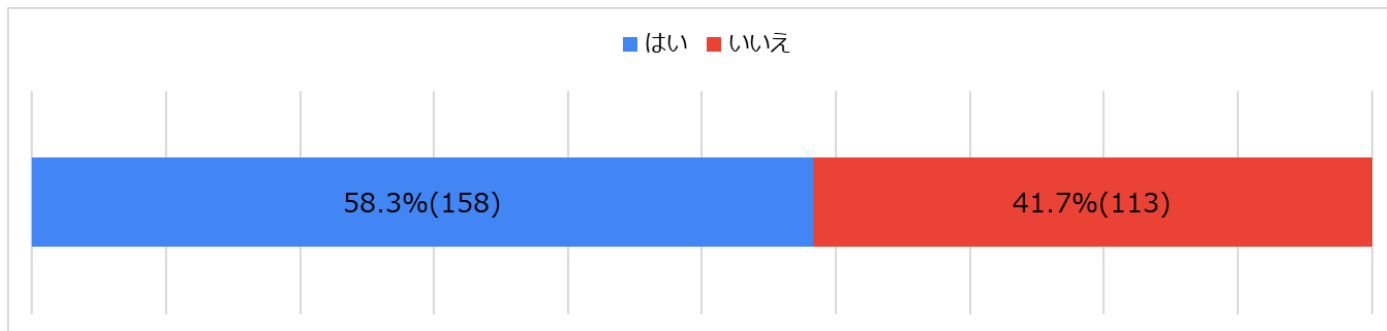


Q30. 連携充実加算を算定するにあたり、最も大変な点は何ですか？ (n=545)

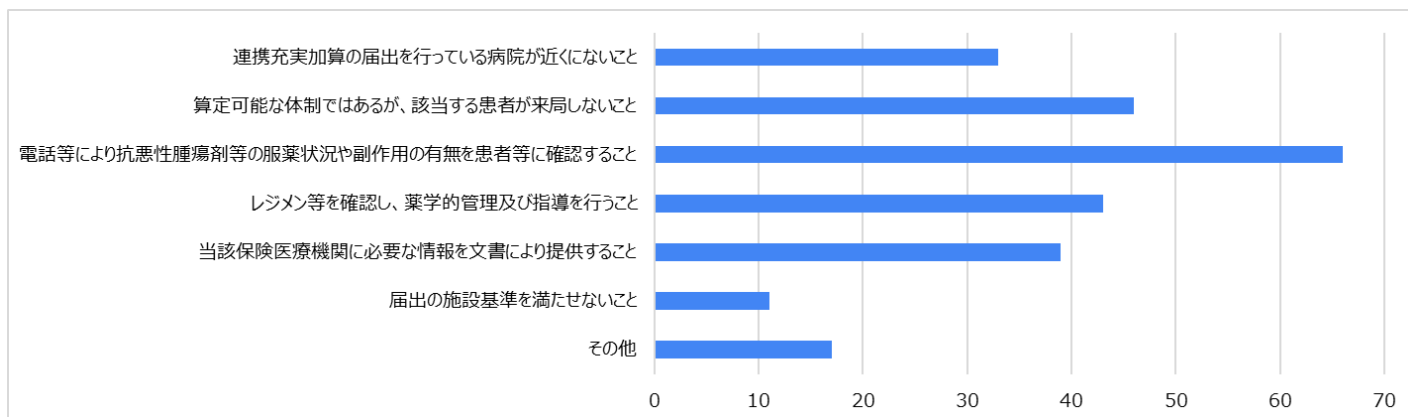


【「薬局」と回答された方に質問です】

Q31. 特定薬剤管理指導加算 2 を算定していますか？ (n=113)



Q32. 特定薬剤管理指導加算 2 を算定するにあたり、最も大変な点はなんですか？ (n=255)



JASPO の各事業の運営に関して、改善点やご意見ご要望がありましたらお書きください。

学術大会、講演会、セミナー、研修会の開催に関するご意見、ご要望 151 件

- よかった 11 件
 - ぜひ継続してください
 - セミナーは質が高く満足度高いです。
 - セミナーは目的が明確で、目的ごとにセミナーが分かれていて良い
 - レベルに合わせた勉強会が開催されているため、自分の学びたいことを基礎から学ぶことができよかったです。
 - 基礎から応用の講座が揃っており、初学時に大変勉強させていただきました。
 - 抗がん剤を多く取り扱う店舗となり、スタートアップなど基本的な知識からエッセンシャルやブラッシュアップなど現場でも使える知識を学ぶことができました。
 - 今年入会しましたが、初めて接する情報も多く大変勉強になり感謝しております。
 - 大会や講演会、セミナーには可能な限り参加するようにしています。非常に勉強になり、熱意が感じられるのが嬉しいです
 - 内容が多岐にわたり充実した研修が多い
 - 毎回、大変勉強になります。ありがとうございます。
 - 様々なセミナーを開催していることが評価できる

- web 開催がよかった、今後も web を希望する 61 件、そのうち
 - オンデマンドが良かった、継続を希望する 10 件
 - ハイブリッドが良かった、継続を希望する 10 件

- 現地開催希望 5 件

- 配信期間、配信方法について 19 件
 - 配信期間を長くしてほしい 8 件
 - 配信時期が連続していたのでもう少し空けてほしい 4 件
 - その他 6 件
 - ◇ 1~2 時間程度の Web 研修会を希望します
 - ◇ web での期間限定の配信の際は終了前に配信終了のリマインドをしてほしい
 - ◇ オンデマンド配信の場合は再生速度調整できるとありがたいです。
 - ◇ 途中から再生できる機能をつけてほしい。
 - ◇ たまに聞きにくい先生がいるのが残念です
 - ◇ 音量の調節をしていただけると幸いです。
 - ◇ 質疑応答、質問できるようなフォーム
 - ◇ キーワード、動画内で一言出ている旨を伝えてもらえると嬉しい。

- 単位、費用について 14 件

- 日本薬剤師研修センターの単位希望 4 件
- 費用が高い 8 件
 - ◇ WEB セミナーになって、会場費や人件費が浮いた分セミナー代を安くしてほしい。補助が出ない病院等は参加したくても経済的に厳しい。
 - ◇ オンラインとなり運営費削減、参加人数増加しているはずなため、会費を安くしたりするなど会員に還元してほしい。オンラインで途中まで再生後にページを離れても、途中から再生できるようにしてほしい。
 - ◇ 今年初めて EssentialSeminarA プログラムとスタートアップセミナーを受講させて頂き、大変勉強になりました。費用のこともあり全て受講できず、もう少し時期を分散して頂けたら費用面でもありがたく、モチベーション維持にも繋がるのかなとは思いました。
- その他 2 件
 - ◇ 今後は現地開催とハイブリットで各種単位取れるようにしてほしい
 - ◇ 勉強になってよいと思うが、セミナーの種類や形式が毎年異なる（マイナーチェンジする）ため、予定を合わせたり、単位を把握するのが難しい。計画的に受講できるように、ある程度統一した形式・予定を立ててほしい。
- 内容、種類について 21 件
 - 内容の種類について 11 件
 - ◇ 研修会の種類をもっと充実させて欲しい 2 件
 - ◇ 症例報告のためのワークショップを開催してほしい 2 件
 - ◇ エssenシャルセミナーはとても分かりやすいですが、2 年前と同様の内容が多いです。新薬の講義を今年のように ABC に分けず、1 つにまとめていただきたいです。
 - ◇ がん専門薬剤師取得に役立つ講義
 - ◇ 以前のように C-program は、殺細胞性・分子標的・免疫チェックポイント阻害剤あわせて、新薬紹介として欲しい。
 - ◇ 各種がん腫を細分化してがん腫における勉強会をして頂けると大変嬉しいです。
 - ◇ 重篤副作用の解説やサバイバーの医療に関する知識、治療中の患者の栄養管理に関する内容も充実していただけるとありがたいです。HD の安全な取り扱いに関する講義は興味深かったです。中小の保険薬局でも取り扱いが多いですが HD に関する認識がかなり低い傾向にあり、業界としても見直しが必要ではないかと考えます。
 - ◇ 对患者さんへの接し方に重きを置いて頂きたいです。
 - ◇ 連携の研修会など、門前の取り組みが多く市や、地区などの取り組みが聞きたい。門前は、出来て当然
 - 内容の質について 5 件
 - ◇ セミナーの講師選定基準が不明瞭。
 - ◇ 医師の演者が少ない。演者の評価ができると良い
 - ◇ 時々講演内容のアンケートをとってもらえるといいかなと思います。
 - ◇ 前年度と同じ講師の場合、ほとんど同じ内容になってしまう

◇ 他の学会（JSMO など）と比べて発表内容の質が低い

➤ その他 5 件

◇ セミナーについて、講演タイトルだけでなく、講演内容の大まかな内容も掲載があると自身の聞きたい内容かどうか判断しやすい。参加費がそれなりにかかるものは特にそのようにしていただけると良い。期待して参加してみたが、内容が広く浅くで特に新しい知識が得られなかったことが経験としてあるため。セミナーを多数開催して頂けることは大変ありがたいです。

◇ ビギナーセミナーを、年に 2 回ぐらい開催してほしい

◇ 医師のようにガイドラインの根拠を説明することが多い気がする。薬剤師ならではの視線を大切にしてください

◇ 会員の声を反映したものにしてほしい。

◇ 関連するセミナーの検索ができていません

● テキストについて 9 件

➤ PDF を希望 6 件

➤ カラーでよかった 3 件

● その他 4 件

➤ セミナーは学会費が上がっても会員全員が最新の内容を受講できる内容を検討してほしい。セミナーのたびに受講料を支払うことができないので受講したことがない。学術大会は単位が不要なセッションは途中からの再生ができないので不便だった。

➤ 開催案内が遅い為困っている人がいます

➤ 学術大会が現地開催の場合、地方都市での開催は避けてもらいたい。地方から地方は移動だけで 1 日かかる。

➤ 研修会などの開催頻度を増やしてほしい

病院と薬局の連携強化・推進への取り組みに関するご意見、ご要望 72 件

● よい 5 件

- さまざまな取り組みがなされており、今後も継続した取り組みをお願いしたい。
- 他の学会より保険薬局との連携強化の推進が明確
- 病院・薬局の連携強化・推進へ取り組んでいただいていると思う。
- 病院側も積極的になってきてよかったです
- 薬剤師が加入する学会の中では JASPO が 1 番進んでいると思う

● 進んでいない 9 件

- あまり進んでいるとは思えません
- 思うように連携が進まない
- 自分の周りでの活動はあまり見えてきていない気がします
- 実感はあまりないです。
- 取り組みの成果が見えてこない
- 地方ではあまり進んでいない
- 中庸な印象です
- 難しいと思います
- 臨床現場へは取り組みの結果は反映されていない。

● 施設間、仕組みの問題 20 件

- 病院が消極的 9 件
 - ◇ お薬手帳シールによるレジメン公開のみで連携充実加算は算定できますか？ 門前から情報提供書に準ずる書類をいただいたことがないため、個人的に疑問です。
 - ◇ まだまだ当院は連携が出来ていない状況のため、推進できたらと思う。
 - ◇ まだまだ薬局から病院へのアプローチがしにくい
 - ◇ 調剤薬局勤務の薬剤師ですが、病院によってトレーシングレポートの提出先が異なり対応に困っております。A 病院は薬剤部、B 病院は医事課となっており、薬薬連携ができない場合があります。
 - ◇ 病院さんのご要望にお応えしたくとも情報が少なすぎてなかなか難しい現状があります。
 - ◇ 病院への研修内容が行きにくい
 - ◇ 病院への薬局薬剤師の研修以外にどのような取り組みをしているのか分からない
 - ◇ 門前病院によって、取り組みに温度差がある。薬局側がいくら言っても改善しない。レジメン照会にも応えてくれないのに、連携充実加算を算定しているのはおかしいと思う。
 - ◇ 連携充実加算を算定しているが、院内の外来がんセンター内で患者を囲う病院がある。薬局に対しての研修会などほぼやらないなど
- 薬局が消極的 6 件
 - ◇ 学会として連携への取り組みは評価できます。ただ、開局薬剤師のモチベーションが低い気がします。開局薬剤師さんには、もっと頑張ってもらいたいと思います。
 - ◇ 検査値・レジメンの共有が実現され隔世の間がありますが、薬局薬剤師がさらにレベルアップしがカ

ンファレンスに呼ばれるようにならないと、真の連携は実現できないと痛感しています。

- ◇ 薬局間での温度差を改善する必要があるのではないかとおもいます
- ◇ 薬局側の熱量に大きな差があり、病院サイドから連携を図ろうにも受け皿が非常に少ないと感じている
- ◇ 薬局側の連携意識が低い
- ◇ 連携の研修会など、門前の取り組みが多く、市の薬剤師会の方や県との取り組みが聞きたい。門前はできて当然と思う。

➤ コロナ禍 2件

- ◇ コロナ禍であまり進んでいない。
- ◇ コロナ禍のため、地域の研修会が開催できず、困っています。

➤ その他 3件

- ◇ 連携強化、推進を今後も継続していく上で、病院の連携充実加算にしても、薬局の特定薬剤管理指導加算 2 にしても、“業務として成り立たせていく”ことが大切だと思います。一部の専門薬剤師の過度な頑張りが無ければ成り立たないようなことの無いように、形を作っていく必要があると思います。
- ◇ 患者さんがどうしたら病院と薬局の連携にメリットを感じてもらえるか
- ◇ 双方の意識を同等にするのが大事だと思います。

● 連携研修に関して 10件

- がん診療病院連携研修は良い取り組みだと思う。病院薬剤師として研修施設として名乗りをあげたいが、マンパワーの問題やカリキュラムの作成などでなかなか手挙げできずにいる。などが
- がん診療病院連携研修を提供しておりますが、負担が意外に大きく金額アップや事前の e-learning の充実が望まれます。
- がん診療病院連携研修病院の募集はもっと広く取り組むべきかと思います。外来がん治療専門薬剤師がいるに対して算定面でのメリットも必要かと思います。
- 近隣薬局薬剤師が認定を目指して研修を開始している
- 研修の到達目標やカリキュラムがわかりにくい。専門医療機関連携薬局のための研修とは言え、研修の質が病院でかなり偏る印象。
- 研修以外に特に何か取り組みをしていると感じない。研修も到達目標が曖昧。
- 研修薬剤師を受け入れるための準備をテーマにした講演を開いて欲しい。
- 現在病院研修中です。病院と薬局の連携強化・推進への取り組みに関して学んでいます。薬局を離れて、病院の中にいると色々な課題が見えてきました。
- 参加資格を緩和し、数多くの薬局薬剤師を病院研修へお願いします
- 実習できる病院を増やしてほしい。

● 外来がん治療認定薬剤師に関して 3件

- 外来がん治療認定薬剤師の取得要件はハードルが低い。それにも関わらず薬局薬剤師の認定者が伸びていない。薬局薬剤師のモチベーションが低い。

- 病院・薬局の垣根を超えた取り組みが可能ははずですが、APACC のネットワークを利用した連携強化を体感出来ていない
- 病院サイドに外来がん治療指導薬剤師取得のメリットがないのは再考してほしい。

● セミナー、会員交流に関して 11 件

- 薬薬連携を実施している医療機関の紹介ばかりであり、実際に病院薬剤師と薬局薬剤師が参加して、連携を推進できるような機会を作って欲しい。
- 連携による成功事例があると思うので、保険薬局側からももっと連携の意義や薬剤師介入のメリットをアピールできるような場を設定して頂きたい。
- もっと連携に関するセミナーなどをやって欲しい
- 一方通行の講義が多い。連携を強化するのであれば、双方向にディスカッションができる研修を取り入れてほしい。
- 具体的な連携事例を多数共有できるような研修会等があるとよい刺激になると思います。
- 実例を紹介していただける Web セミナーや、単なる業務紹介ではなく、それぞれが困った事例や、患者さんに対して極めて貢献できた事例などを知る機会が欲しい。
- 取り組み事例の紹介をたくさんしてほしい。使用しているツールも共有したり、学会として推奨するものを作成してほしい。
- 先進的な事例を共有してほしい
- 他の施設の運用を知りたい
- 大きな病院の取り組みを聞いてもあまり参加にならない
- 薬局にトレーシングレポートの書き方などの無料セミナーを開催して、より質の高いトレーシングレポートが病院に届くような取り組みをしてほしい

● その他ご要望 14 件

- JASPO が行った取り組みでの実績はどこかで具体的に公表してもらいたい
- がん治療に関する取り組みの温度差が薬局や保険薬剤師間でもあるように各県の薬剤師会によってもあるように感じています（がんに関するセミナーや研修会がまったくない、連携充実加算に関する研修会の取りまとめの連携が病院薬剤師会とある・ないなど）。学会からの働きかけですこしでも改善する可能性があれば、学会の会員だけでなくがん治療に関する取り組みを全国の保険薬局に広げていく手助けとして県の薬剤師会や日本薬剤師会への働きかけなどについてもご検討いただけたらと思っています。
- どうしても病院の方が立場が上になりがちな印象があるので、そこを改善出来るような取り組みをお願いしたいです。
- どのような取り組みをしているのか伝わってこない
- トレーシングレポートのひな形を提案していただきたい
- まだまだ取り組みの周知不足と思います
- もっとやってもらわないと薬薬連携の本気の底上げにはならない
- 連携の強化の方向性を示すような発信をしてほしい。
- 首都圏では連携が進んでいると感じていたが、地方ではまったく感じられない。地方での活動拠点も作っ

て欲しい。

- 診療報酬などに影響しないと実際には連携が進まないと思うので、より働きかけを行っていただきたい。
- 他学会とのコラボレーション
- 連携事例を教えてほしい。
- 連携取り組みの色々な形をみたい
- 連携充実加算に関わらず、連携強化をもっと行うべきだと思います。

- わからない、できない、難しい 25 件
 - わからない、知らない 7 件
 - JASPO の支援について 7 件
 - ◇ あまり知らないだけかもしれないがどんなことをしてるかわからない
 - ◇ あまり臨床研究支援をしている印象がない。
 - ◇ どのような取り組みをしているのか伝わってこない
 - ◇ どの程度の支援がされているのかあまりわからない
 - ◇ 活動が伝わらない
 - ◇ 活動内容をよく把握していない
 - ◇ 具体的に何をしているのかがわからない。
 - 自身の経験について 4 件
 - ◇ 経験がないため分からない。
 - ◇ 今後取り組みたいと思いますが、いまだ未着手です。
 - ◇ 支援してもらうほどの研究をしている自信がない
 - ◇ 私自身が不勉強もありますが何から学べばよいか分からない。
 - 職場環境について 7 件
 - ◇ 臨床研究そのものがとつき憎い環境
 - ◇ 調査研究を行いたいと思っておりますが、勤務先の理解がないため難しいです。
 - ◇ 日常業務で時間を取られ、研究する時間がありません
 - ◇ 病院実務を行っていることから、臨床研究等についてはわかりません。
 - ◇ 薬局だと実感はあまりないです。
 - ◇ 薬局勤務のため、関りが少なく評価不能です。
 - ◇ 臨床研究 今の業務のなかで行うことか難しい
- セミナー、研修会等について 6 件
 - もっと研修会が増えるとよいと思います。
 - 研究に携わったこともなく、またどのようにアプローチしたらいいのかも自身は全く分からない。自身の問題ですが、その手助けとなるセミナーや書籍があると嬉しいです。
 - 初学者向けの研修はありがたい。継続してほしい。
 - 調剤薬局ではどうしても研究の敷居が高く感じてしまいます。この件も、他の調剤薬局様の事例を数多く共有できるような研修会があればと思います。
 - 臨床研究セミナーを今後も継続して頂きたいと思います。また、学術大会でも、研究に関するシンポジウムがあると参考になりますし、刺激にもなりますので、プログラムに必ず入れていただきたいです。
 - 臨床研究レクチャーのような研修会をもっとやって欲しい
- 相談、助言について 3 件
 - 研究デザインの相談ができると助かります。

- 調査方法や統計方法、文献に詳しい方が周りにいない。
- 病院発信が圧倒的に多い。薬局で取り組みたいと感じている所もあると思う。助言してもらえると面白いのではないか？

● その他 8 件

- JASPO の会員の医療機関で、多施設共同臨床研究が出来ると良いと思う。
- 共同で実施できる研究協力者を会員全体に周知して公募し、底上げを図る取り組みを行ってはいかがでしょうか。
- 具体的な流れと実例があるとよい。
- 今後も継続した支援、取り組みをお願いしたい。
- 支援体制は整っていると思うが、ややハードルが高い印象がある。同じ志しを持つ者の学会なので、学会としての研究を進めていけたらいいと思います。セミナーがあれば参加したい。
- 審査基準が厳しすぎる。できるだけ支援するようように誘導してほしい。
- 診療報酬などに影響しないと実際には連携が進まないと思うので、エビデンスの提示を行っていただきたい。
- 他職種では、学会発表や論文の二重投稿など厳しいがそこら辺をきちんとしてほしい。

- 交流の場を増やして欲しい 16 件
 - 二次医療圏程度のエリア範囲で、病院・薬局の外来癌治療認定薬剤師が繋がれるコミュニティがあるとありがたいです。
 - 地域ごとの交流の場があってもよいと思う。
 - 参加しやすいイベント希望
 - 一人でも参加しやすい
 - 薬剤師同士や他職種がもっと交流できる機会を作って欲しい
 - 多職種が発表する場を設けて欲しい 3 件
 - 多職種と情報交換や相互交流ができる場を設けて欲しい 8 件
 - 他の学会と同様だが薬剤師主体のため、多職種の認知度は高くない。多職種の学会とコラボするなど交流の場を設けてみては？

- 管理栄養士に関すること 3 件
 - 栄養士との相互交流が少ないように思う
 - いろんな癌の患者さんへの栄養について知りたい
 - 栄養士さんからの話が聞きたい

- コロナによる影響のため仕方ないとする意見 5 件
 - コロナ禍の現状では取り組みが難しいと思われるが、今後も推進していただきたい。
 - コロナ渦であり進んでいない。
 - コロナもあり、現状は仕方ないと感じる。
 - コロナ禍ですので対面がないのではないでしょうか。
 - コロナのため web 開催になるなど、情報交換の場が減ってしまったのが残念です。

- メーリングリストに関して 15 件
 - 質問、回答が見れるので知らなかった知識を得ることが出来るため有用
 - メーリングリストは代理投稿システムはあるものの気軽に質問できないので、過去の内容も閲覧・書き込みができるようなシステムが構築できるとよい。
 - メーリングリストをワードで検索できるようにしてほしいです。
 - 過去のメールでの質問とその回答を見ることはできないか。
 - ML での意見交換可のシステムは非常に良い
 - メーリングリストでの情報交換はとても参考になっている 5 件
 - メーリングリストでいつも勉強させていただいています。アブラキサン供給停止の際は参考になりました。
 - メーリングリストを用いて他施設の情報を得ることができるので良いと思います。
 - JASPO の DI には助っております。
 - ML があまり機能していない気がする（投稿への敷居が高い、返信も最近少ない）
 - 薬剤師との情報交換になっているが、多職種における情報交換する場とは言えない。

● その他 4 件

- 学会がどのような活動・取り組みをしているのか伝わってこない 5 件
- 知識が不足しているのでまだ気がひける
- 職場院内における情報交換のみしか出来ておりません
- S-1 の涙道障害に関して。がんを専門にみている病院の場合、粘ちよう性・保水性の高い点眼は、一時休薬する事が常識になっていると思われます。しかし、癌を専門にしない眼科の先生に副作用情報をきちんと説明してから、お伺いをたてて患者に中止を伝える事は難しいこともあります。知識の更新がおくられていたり、副作用の評価が眼科医により異なります。あまり癌に興味のない医療従事者にもきちんと情報伝達を行う必要はあると思ひます。小児科領域の癌の話を知きたいです。

がん患者、家族に対する啓発活動に関するご意見、ご要望 34 件

- 十分でないとする意見(否定的なもの) 19 件
 - 学会がどのような活動・取り組みをしているのか伝わってこない 12 件
 - 学術大会の市民公開講座以外の取り組みが分からず、回答できない
 - 他の学会でもいえることだが、一般的にはあまり知られていない印象
 - あまり JASPO の名前をこういった場面で見ることがない
 - 色々な学会があり、家族に十分啓発する必要がある
 - 薬業連携の重要性への浸透率はまだ低いと実感しております
 - 薬局にいるともっと理解してもらうために活動が必要と感じる
 - がん医療における薬剤師の職能について、特に外来診療における仕事を理解して頂き、患者さんからアクセスしたいと感じていただけるような広報を強化して頂けたら幸いです

- 学会に対する要望 12 件
 - 副作用モニタリングにおけるスマホ活用などが各メーカーがバラバラで行っているため、学会が旗振り役になるとまとまっていくのではないかと思う
 - 当学会に限らず、患者啓発がまだ行き届かない現状があり、各学会、メディアを活用した対応を更に推進して欲しい 2 件
 - これからの薬剤師の中心的事業の一つなので、会員だけでなく一般薬剤師にも広まって欲しい
 - がんの薬物療法に関する表明の際、日本臨床腫瘍学会などと一緒に合同声明を発表し、認知させてほしい
 - 抗がん薬の供給停止のお知らせなどリアルタイムな情報は充実すべきところではあると思う
 - 患者だけではなく、小中高での教育も進めたい
 - 重要なことだと思うので、ぜひ強化していただきたい
 - 市民公開がん講座等、今後も積極的に取り組んでほしい
 - がん患者会を積極的に開催して欲しい。
 - 市民公開講座開催についてのお知らせが欲しい
 - 無理をしない食事のとり方について知りたい

- 学会の取り組みに対して肯定的なもの 3 件
 - すべての人が満足いく活動というのはないので現状でおおかた満足しています
 - ホームページでの情報は参考になる
 - 『がん化学療法レジメンハンドブック』等、啓蒙に関する素晴らしい活動には敬意を表します

- その他 1 件
 - 例えばですが、専門薬剤師でも、学術的に優れていても、ネガティブな話を聞くことがあります。がん専門薬剤師にショッキングな事を言われて落ち込んでしまったなど

- 学会の取り組みに対して肯定的な意見 5 件
 - オンラインで参加出来る講習が充実していて助かっています。
 - 専門医療連携薬局を推進する足掛かりとなっている
 - BPACC の認定、研修など、専門薬剤師を育成する取り組みは素晴らしいと思います。
 - 資格を取りたいというモチベーションを持って外来業務に取り組んだり、学会にも参加できて満足しています。
 - 申請書類なども他の学会に比べて入力しやすいと思う。面接があるのがいいと思う。

- 認定試験について 8 件
 - 症例の書き方、合格基準をよりわかりやすくしてほしい
 - 認定試験のための問題集を作成してほしい。2 件
 - 間口が狭い。過去問がないのは仕方ないが、試験範囲が膨大であるにも関わらず、その範囲に相応しい要領を得た試験範囲の提示が不親切な印象を受ける。例題集やクリニカルクエスチョンや症例検討会などを定期的実施してほしい。
 - 症例報告の精査した内容を、フィードバックして欲しい。認定取得のためだけではなく、今後の介入方法をよりよくするためにも
 - 症例報告等薬局薬剤師には分かりにくく書きにくい
 - 症例を集められない薬局では認定取得が難しい
 - 指導してくれる人がいない施設でも取れるような方法を考えて欲しい

- 認定期間・更新について 5 件
 - 5 年更新にして欲しい
 - 認定期間が短い。特に癌は患者指導において、情報の update は必須なのできちんとやっていると思う。勉強会などの単位数増加は有ってもいいが、認定期間はもう少し延長してほしい
 - 更新の単位が JASPO 関連学会主催以外でも取得できるようにしてほしい 2 件
 - がん認定と同じく、更新時に症例を提出させるべき

- 認定取得の難易度について 5 件
 - 裾の尾を広げることは、とても良いことだが、質の低い認定薬剤師が多くなることは、避けてほしい。
 - 外来がん治療認定薬剤師の取得要件のハードルが低い。認定者数を増やすことを重視し過ぎ。認定者の力量が低いことがあり、「認定薬剤師と言ってもこの程度か」と医師に思われることを危惧する。
 - 受験し易くするのは良いと思うが、難易度は一定のレベルを維持していただきたい。誰でも受かる資格であると、あまり意義がないような、、、
 - 取得が難しい 2 件

- BPACC の取り組みについて 5 件
 - 外来がん治療専任薬剤師を取得するのに、がん拠点病院で 5 年以上の勤務歴があるにも拘わらず、

暫定ではなく正規で摂る場合、指定の研修期間に多額の研修費を払って、研修を受けなければならないのがどうかと思う。

- 認定から専門への施設基準が、加算 1 であることに納得がいきません。当院の場合、外来部門と入院部門を病院の組織として分けてしまっているため、外来は医師がどうしても常勤扱いにならないため（本院の入院施設の常勤扱いのため）加算 1 がとれません。取り組みは加算 1 と同じです。メールにて問い合わせをしましたが、返答をいただけず、こちらから問い合わせをしました。仮に認められないとしても、論議をした上で決定してほしいです
- 認定医療機関への勤務が不可能。テストのみで認定が良いかと思う
- 病院実習が住んでる地域にはなく困っている
- 病院研修の施設を増やして欲しい。大規模チェーンでない限り長期間の研修は難しいので、いろいろな休日を利用できるなど研修パターンを選べるようにしてほしい

● 認定を取りたいけど取れない 4 件

- 地方在住者にとって学会の認定を取得することは、ハードルが高いと感じています
- 地方、大学病院門前ではないので、取りたいという気持ちはあるが難しい
- 門前病院では消化器系が主な化学療法。それ以外の患者さんなどと接することは不可能。また、BPACC 取得でも、小さい規模の薬局では病院研修行くための人員もないため難しい。学べる内容に病院差、地域差があると思われる。
- 施設の領域が偏っていたり症例数が少なかったりと認定等は難しいと考えていますが、腫瘍領域別に知識レベルを計れる達成度試験の様な仕組みがあると研鑽に励みがつくように思います

● セミナーに対する要望・感想 8 件

- 化学療法から緩和療法までを理解できる研修を期待しております。
- もう少し疾患からの治療ガイドラインの講座があると専門外の分野にも対応していきやすい
- ベーシックなセミナーが定期的にあるとうれしいです。
- わかりやすいセミナー開催はありがたい
- セミナーハンドアウトも勉強に助かるが、講師の先生によって内容・情報に差があったりもするので、外来がん治療認定薬剤師に関連するがん治療に関することをまとめた書籍などがあるといいと思いました。
- 専門性を維持するために、今後も引き続きセミナー等を開催頂きたく存じます。
- がん専門薬剤師取得に役立つ講義
- コロナ禍となり症例セミナーが無いのが残念

● 病院と調剤薬局の温度差 2 件

- 病院と薬局ではやはり知識に差が生じてしまっています。
- 勤務先の会社に、外来がん化学療法認定薬剤師を目指しているスタッフが居ますが、門前病院のがん専門薬剤師と連携が取れていません。

● その他 11 件

- 認定、専門薬剤師の質の担保は大変重要であると思われるが、地方では認定薬剤師の総数が少ない。地域連携など様々な活動を行なっていくためにも、広い枠組みでの認定制度を検討していただきたい。
- 養成や認定制度に関しては現状で多くを排出し実績を。また専門医療機関連携薬局の報酬に関しても活動してほしい
- まだまだ認知度が低いので、資格取得のメリット等について国に働きかけてほしい。
- 自己学習に対する支援を強化して頂きたい
- 専門性を得られるように、資格所得後も継続的な学習が必要と考えます
- もっと色々あっていいと思います
- アナウンスもわかりやすく、力を入れてもらっているのが分かります。
- 外来がん治療認定薬剤師は薬局側の専門認定にしても良い気がします。
- 複数の学会から認定薬剤師、専門薬剤師が出ているが違いがよく分からない
- 日病薬のがん薬物療法認定薬剤師と外来がん認定・専門薬剤師の差別化がなく、日病薬のものを有する身としては JASPO の資格を取るメリットを感じられない
- 認定養成の研修が JASPO でできるようになり、医療薬のように長期に渡らず取得できるので保険薬局にとってメリットがあるの

ホームページおよび学会誌による情報発信に関するご意見、ご要望 36 件

- ホームページに関すること 9 件
 - ホームページの内容が分かりづらい 2 件
 - 大変見やすいと思う
 - ホームページの掲示等の刷新も良いと思います
 - 共催の勉強会などをもっと掲載してほしい
 - 各癌腫、FN などの最新ガイドラインを閲覧できるようにしてほしい 3 件
 - がん専門薬剤師の更新期間が延期になっていると思われるが、HP 上でみてもどの期間延びたのかよく分からない。個別に送られてきた用紙のようなものを開示していて欲しい

- 学会誌に関すること 7 件
 - ホームページの学会誌は見づらい 2 件
 - 学会誌はあまり見ていない 2 件
 - 学会誌があることを知らなかった
 - 学会誌の配布を希望する 2 件

- その他 20 件
 - どのような取り組みをしているのか伝わってこないということは、情報発信という点において問題があるのではないのでしょうか
 - 抗がん薬の供給停止のお知らせなどリアルタイムな情報は充実すべきところではあると思う
 - 何かの情報が必要な場合に、あえてこちらのホームページや学会誌を参考にすることはない。また、何かの情報を知る契機になることもない
 - セミナーや試験の情報などがメールで回ってくるのがタイムラグがある。薬剤情報がメールで回ってくる時、いちいちリンクがあってわかりにくい。JASMOの方がわかりやすい。LINEの方に連絡が来ず、運営がうまく行っていないと感じる。Facebookは何か意味があったのか疑問
 - 学会員であるメリットがもっと欲しい（例 腎臓病薬物療法学会）
 - 今後も電子媒体でお願いしたい
 - 新薬情報等の情報をメーリングリスト等で配信いただけるので、情報アクセスしやすい 2 件
 - 最新の情報を知ることができ、有用と感じている 3 件
 - 新規承認の抗がん薬について情報提供する JASPO DI の取り組みは有難い 4 件
 - 初学者にも分かりやすく有難いと考えております 2 件
 - タイミングも内容も良いと思う
 - 他の学会に比べ充実していると思います
 - 他の学会と同程度

- セミナー・講演会等について 19 件
 - 研修会はオンデマンド（Web 開催）を継続して欲しい 10 件
 - 講演会もオンデマンド配信して欲しい
 - 日病薬の単位も貰えるよう申請して欲しい
 - 小規模薬局勤務薬剤師でも参加できるような、ビギナーセミナーを数多く、開催してほしい
 - 試験の対策などの講義が欲しい
 - セミナーなどで認定試験で不合格となった症例を多数紹介していただきたい
 - 症例の書き方のポイントや患者さんへの接し方を知りたい
 - 学会発表、論文作成の相談窓口があるといい。統計も含めて
 - 今まで研究に関係する資料や論文等を調べたり、読んだりしたことがありません。そもそも、どうやって自身が知りたい論文等を見つけられるのか知る機会が欲しいです。
 - 有料セミナーの Web 開催に関して、録画録音によるオンデマンド配信は大変ありがたいが、一方向型なので、プレゼンテーションは、録音後の内容を担当者間又は学会として、きちんと内容や聴きにくさの確認をして、より精度の高い内容としていただけるとありがたいです。

- 認定試験について 4 件
 - 認定期間の延長をしてほしい 2 件
 - 外来がん治療認定薬剤師の申請に必要な 10 症例で不合格となった場合、理由を教えて欲しい 2 件

- メーリングリストについて 3 件
 - 色々なメールで情報をいただきますが、どんな内容なのか一目でわかる工夫があると助かります
 - 最近 DI メールが少ない。承認前の情報（海外の承認状況、国内の申請状況、薬事食品衛生審議会での協議状況など）を知りたい
 - がん薬物療法に関する DI やメーリングリストで問い合わせのあった事例の Q&A とかが検索して閲覧することができる WEB 版 DI 実例集的なのを HP に作ってほしい

- その他 21 件
 - 学術大会に行かない人たちにとっても、年会費を払って満足のいくような学会であって欲しい
 - 学会員のメリットの向上
 - 個人ページを充実させて欲しい
 - HP の内容をわかりやすくして欲しい
 - 受講料や学会費をもう少し安くしてほしい 2 件
 - 様々なコンテンツを会員に対して提供しており、現状のサービスを継続するとともに、発展できれば良いと思います
 - 認定資格の知名度の上昇
 - がん関連の認定・専門資格が増えているので、外来がん認定・専門薬剤師が特に長けている点をアピ

ー礼して欲しい

- 医療薬学会のがん専門薬剤師のような広告できるように
- 薬局薬剤師の今後の活躍についても考慮いただけると幸いです。
- 会費を預けて社会的な取り組みをしてもらいたいと思っています。そのお金を使わずに年度末の財務諸表で現金が増えているというのは、健全ではないと思います。しっかりと JASPO の未来に投資してください
- 学会として存在感が大きくなってきているので、診療・調剤報酬や薬剤師職域の拡大などについて、エビデンスを集約して働きかけてほしい
- 代議員会や各委員会の活動について情報公開してほしい
- 会議にまつわる長距離交通費の節約
- 臨床腫瘍学会や、癌治療学会など、薬剤師以外の医療者も集う学会で、JASPO が主催（もしくは共催）するシンポジウムを開催していただきたい
- 抗がん剤の涙道障害・角膜障害に関して、多職種に啓発する必要があると思う
- アンケートの際に具体的な例があると答えやすく、またそういう活動をしているのかと認識できて良いと思います
- 事務局の態度がとても親切で問い合わせに対しても紳士的な対応いただき感謝している
- 自分のメール設定の加減かもしれませんが、2 つ登録してるアドレスの片方しか届いてないことがあり、それに気づかず締め切り過ぎてから気づくことが数回あった
- 認定を維持するためだけに会員になっているような気がする。がん薬物療法認定薬剤師も持っているため、外来がん治療認定薬剤師を持っている意義が薄れていっているのが本音。APACC を持っているメリットを実感できるようにしてください。アンケートは毎年行われているようですが、その結果を見るといろいろな要望や意見が挙げられているようです。その要望や意見に対して学会として対応をしたのであれば、どのような対応を取ったのか分かるようにしていただけないでしょうか